

## ポストコングレス北海道ツアーの概況紹介

北海道コースは、不運にも台風に見舞われた。8月31日に九州に上陸した台風が北上したために、北海道ツアー一行を後追いつける状態となり、9月1日大阪空港から羽田経由で千歳まで到着したが、釧路に向かうことができず、急きょ札幌に宿泊して、翌日朝早く汽車で釧路に向かい、正午過ぎに無事到着した。従って、前日(9月1日)訪問する予定であった白糠大規模草地や、当日(9月2日)訪問予定の芳賀牧場、俵橋大規模草地、根釧農試を割愛し、別海町新酪農村の下村牧場を訪問し、途中摩周湖及び硫黄山を展望した後、当日宿泊予定の川湯グランドホテルに到着した。

根釧農試はじめ、釧路支庁、釧路市役所、訪問先及び町村関係の皆様には、長期間の準備で精神的物質的に多大の御迷惑をおかけしましたことを、事務局から深くおわび申し上げますとともに、絶大の御支援を頂きましたことを、紙上を借りて厚くお礼申し上げます。9月2日は台風一過の秋晴れで、新酪農村の下村牧場を訪問できたことは唯一の救いであり、ツアー一行も見なれぬ酪農風景に、多大の感銘を受けたようであった。

翌9月3日は、上士幌町の大規模草地を見学した後、士幌町の鈴木牧場を訪問し、帯広市十勝農協連の会議室でファーマーズフォーラムが開催され、その後懇親会が行なわれた。ファーマーズフォーラムでは放牧及びフォーレジテストのシステムについての、質疑応答が多かった。

翌9月4日は、帯広畜産大学の農場を訪問した後、日勝峠を経て長沼町の雪印種苗中央研究農場を訪問し、野幌の北海道開拓記念館を見学した後、札幌のホテルでフェアウェルパーティを開催し、北海道ツアー最後の夜をお互いの懇親を深めながら、有意義に過ごした。

翌9月5日は、北農試及び早来町の山田牧場を訪問して、正午すぎ千歳空港に到着し、成田に向かう一行をお見送りして、北海道ツアーを終了した。以上のように、台風には見舞われたが、その後はスケジュール通り遂行することができた。外国人参加者は、京都や東京とは全くイメージの異なる日本の側面をみて、認識を深めたようであり、北海道ツアーは大成功のうちに終始することができたと思う。これはひとえに、各地域の関係者の皆様の御努力と御支援の賜物であることは言うまでもありません。紙上を借りて、事務局より厚く御礼申し上げます。

なお、今回の外国人ツアー一行の国別出席者人数は、下記のとおりです。この中には、9月6日北大クラーク会館で行なわれた、北海道草地研究会20周年記念事業で特別講演されたアメリカのウエディン博士、イギリスのホジソン博士も含まれております。

アメリカ	11名(うち女性3名)
中国	10名(うち女性3名)
ニュージーランド	2名
スウェーデン	2名
フィンランド	2名
イギリス	1名
オーストラリア	3名(うち女性1名)

カナダ 1名  
西ドイツ 1名  
ノールウェイ 2名（うち女性1名）  
ケニヤ 1名  
計 36名（11ヶ国）

〔 鷺野 保（北海道農試） 〕

